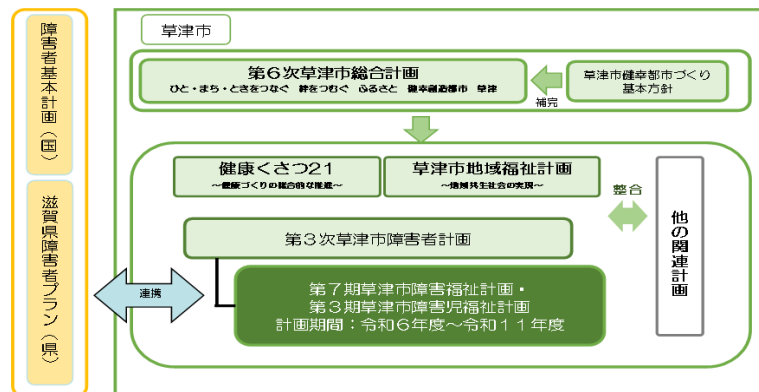


1. 「草津市障害福祉計画・草津市障害児福祉計画」について

【概要】

- 「草津市障害福祉計画」は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第88条第1項の規定に基づく「市町村障害福祉計画」であり、障害福祉サービス等の数値目標と具体的な確保策を示す計画
- 「草津市障害児福祉計画」は、児童福祉法第33条の20第1項の規定に基づく「市町村障害児福祉計画」であり、障害児通所支援等の数値目標と具体的な確保策を示す計画。
- なお、「草津市障害児福祉計画」は児童福祉法第33条の20第6項の規定に基づき、「草津市障害福祉計画」と一体のものとして策定。

【位置づけ】



【計画期間】

令和6年度から令和11年度までの6年間

※制度改正等、必要に応じて見直しを行うこととしている。

年度											
H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
草津市障害者計画											
第2次草津市障害者計画 【平成30年度～令和5年度】						第3次草津市障害者計画 【令和6年度～令和11年度】					
草津市障害福祉計画・草津市障害児福祉計画											
第5期草津市障害福祉計画・ 第1期障害児福祉計画 【平成30年度～令和2年度】				第6期草津市障害福祉計画・ 第2期障害児福祉計画 【令和3年度～令和5年度】				第7期草津市障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 【令和6年度～令和11年度】			

2. 今回の中間見直しの趣旨

- 国において、「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針」（以下、「国基本指針」という。）を策定し、市町村および都道府県が障害福祉計画および障害児福祉計画を定めるに当たっての基本的な方針を定めている。
- 今般、直近の障害保健福祉施策の動向等を踏まえ、令和9年度から令和11年度までの障害福祉計画および障害児福祉計画を作成するに当たって、即すべき事項を定めるため、国基本指針の改正がなされた。
- 国基本指針の改正内容や近年の動向を踏まえ、「第7期草津市障害福祉計画・第3期草津市障害児福祉計画」についても、中間見直しを行うもの。

<参考：現行計画の成果目標>

- 施設入所者の地域生活への移行
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
- 地域生活支援体制の充実
- 福祉施設から一般就労への移行等
- 障害児支援の提供体制の整備等
- 相談支援体制の充実・強化等
- 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築
- 日常生活を支えるサービスの確保等

3. 見直しスケジュール

日程	項目	内容
令和8年9月8日	令和8年度第1回審議会	・令和7年度実績の確認 ・中間見直し（案）の方針審議 ・中間見直し（案）審議
令和8年12月下旬	令和8年度第2回審議会	・中間見直し（案）審議
令和9年1月～2月	パブリックコメント（1ヵ月）	
令和9年3月	見直し後計画の公表	